

# おたわら

(公) 神奈川労務安全衛生協会  
小田原支部  
小田原市城内1丁目21番地  
TEL 0465-24-1753  
発行責任者 支部長 鈴木 重人  
編集 広報部会

## 支部長就任のあいさつ

小田原支部長 鈴木 重人

(株)カネボウ化粧品 小田原事業場



さわやかな風が吹く新緑の季節を迎え、小田原支部会員事業場の皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、4月20日の支部定時総会において、支部

長の大任を仰せつかりました。支部事業場の皆様、並びに小田原労働基準監督署をはじめ、関係諸官庁・諸団体の方々のご協力を得て、当支部の益々の発展のために微力ながら努力してまいります。前任者同様のご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

昨年、平成23年3月11日の東日本大震災、大津波、福島原発の事故より、もう一年が経過しました。改めまして被災されました皆様方に心よりお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧・復興を心より願うところであります。さて、わが国の経済は昨年秋以降の停滞を抜け、ようやく緩やかな回復の兆しがみえ始めたところであります。東日本大震災からの復興事業が内需を支え、米景気の復調や円高の一服で輸出も好転してきているようです。ただ欧州政府債務危機の影響や原油高、原子力発電所の

停止による電力不足懸念など、多くの不安が依然残っている事にも注意が必要であります。

このような情勢の下、引き続き神奈川県下の雇用情勢は、依然厳しいものがあり、また、突然の解雇・雇止めや賃金不払い等、様々な個別紛争も高止まりしております。引き続き各企業、事業場は事業基盤の強化と雇用の安定的確保、労働関係法規のコンプライアンスを徹底して行かなければならないでしょう。

小田原支部としてはこれらの労働環境の変化や新たな取り組みに迅速に対応し、県西地区産業界全般の労働安全衛生環境の向上を図るべく、教育・啓発活動を中心に活発な活動を推進してまいります。平成24年度の活動としては、労働基準法及び労働安全衛生法に基づく各種教育、講習会を開催するほか、「労働安全衛生マネジメントシステム」及び「リスクアセスメント」への対応と「快適な職場環境形成に基づく心身両面にわたる健康保持増進対策」などを企画推進します。変化し続ける労働環境への対応や法改正の周知など、引き続き小田原労働基準監督署をはじめ関係諸官庁のご指導をいただきつつ、今後とも会員事業場の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

### 着任のご挨拶

小田原労働基準監督署

署長 長久保 茂



皆様、はじめまして。この4月1日付けで神奈川県労働局監督課から小田原労働基準監督署に着任いたしました長久保です。前任の山田様よりよろしくお願いいたします。

します。

会員の皆様方には、日ごろから当署の行政運営につきまして、格別なる御理解・御協力をいただいていることに関しまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、我が国にとって非常に大きな1年となりました。3月に起きた東日本大震災は被災地の方々のもとより、日本有数の観光地を擁し、観光・レジャー関連産業を地場産業とする当署管内の経済にも大きな影響を与えました。これについては、新聞報道等にもありますように、多くの方々の御努力でようやく明るさを取り戻しつつあるようですが、震災前の状況に回復するには、まだ時間が掛かるものと思われ

ます。経済情勢全般をみましても、欧州における経済不安等からの大幅な円高、タイの洪水の影響、原油価格の高騰、中国経済の減速等我が国を取り巻く経済環境は依然として厳しい状況が続いております。ここに来て景気の持ち直しの動きがみられるとはいえ、企業活動の先行き不安は払拭できません。これを受け、雇用情勢の悪化懸念も残っている状況にあります。

監督署の業務に係る状況についてみます

と、解雇や賃金不払い残業それに長時間労働等をはじめとする労働条件に係る申告・相談は高水準で推移しておりますし、パートタイム労働者等非正規雇用労働者の方からの雇止め等定期労働契約に係る相談もみられます。

また、平成23年の労働災害発生状況に目を向けますと、死亡災害は平成22年の1件から3件に増加し、休業4日以上死傷災害は364件と、災害が多発した平成22年に比べれば減少したものの平成21年の349件を上回る高止まりの状況にあります。

さらに、脳心臓疾患や精神障害による労災認定事案も引き続き発生しております。

こうした状況に対応するため、平成24年度は、一般労働条件の確保・改善対策、労働災害防止対策、過重労働による健康障害防止対策、メンタルヘルス対策を重点に行政を推進して参ります。また、労災補償の迅速・適正な給付に引き続き努めます。加えて、屋外での金属アーク溶接作業関係で粉じん障害防止規則・じん肺法施行規則が改正され平成24年4月1日から施行されておりますし、有期労働契約関係で労働契約法、メンタルヘルス対策関係で労働安全衛生法の改正も予定されていることから、必要な情報を適切な時期に発信する等皆様方への広報・周知にも努めます。

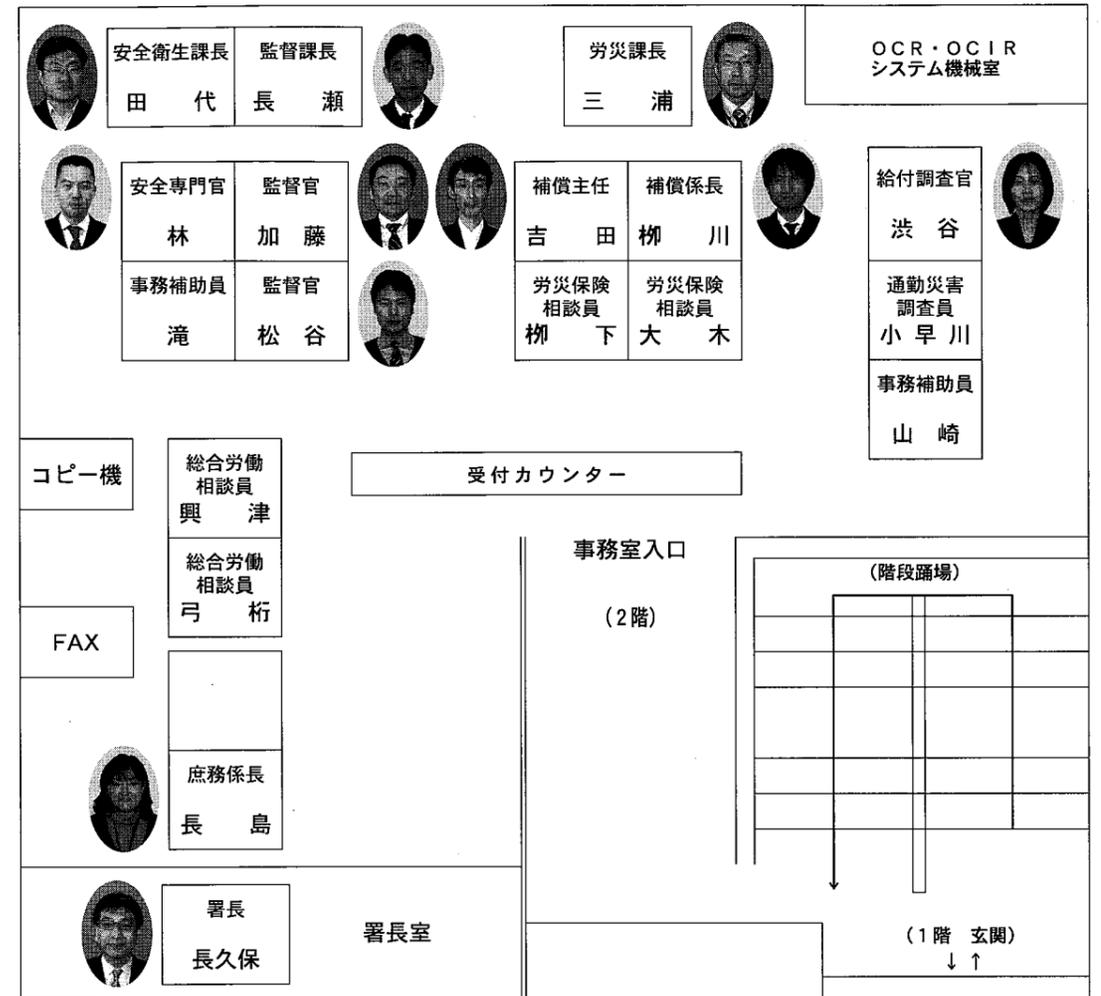
もとより微力ではありますが、労働基準行政に求められるものが大きいことをしっかり受け止め行政を推進していく所存でございますので、会員皆様方の一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。着任の御挨拶とさせていただきます。

### 小田原労働基準監督署 職員配置図

(〒250-0004)

TEL 22-7151

小田原市浜町1-7-11 FAX 22-0074



#### <各課主要業務>

##### ■監督課庶務係

- 賃金構造基本統計調査
- その他各種統計調査

##### ■監督課監督係

- 適用事業報告
- 時間外休日労働に関する協定届
- 1ヵ月単位・1年単位の変形労働時間制に関する協定届
- 就業規則(変更)届
- 寄宿舎規則・寄宿舎設置届
- 労働条件等に関する相談

##### ■安全衛生課

- 特定機械等の設置届・落成検査等
- 労働者死傷病報告
- 各種健康診断結果報告
- 安全管理者・衛生管理者・産業医選任報告
- 労働安全衛生法等に関する相談

##### ■労災課

- 労働保険各種届等
- 労働保険各種請求書
- 労働保険に関する相談

## 平成23年業種別労働災害発生状況

小田原労働基準監督署

平成23年における小田原労働基準監督署管内で発生した休業4日以上労働災害件数は全体で364件、前年の件数と比べ9%の減少という結果になりました。しかしながら死亡災害に関しては3件発生しており、前年と比べ2件増加と非常に憂慮すべき状況であります。

災害多発で増加傾向のある業種としては、電気機械器具製造業、農林業、商業、通信業、保健衛生業、などが挙げられます。

小田原署管内においては、各業種で中小規模事業場が多く、人的要因や費用的要因などから未だ安全管理の手法としてのリスクアセスメント導入が進まない傾向が見受けられます。多様化してきている危険性や有害性に対するリスクの低減対策は災害の有無に関わらず今後も重要不可欠なものであります。皆様の事業場における職場のリスクアセスメント導入促進を是非お願いいたします。

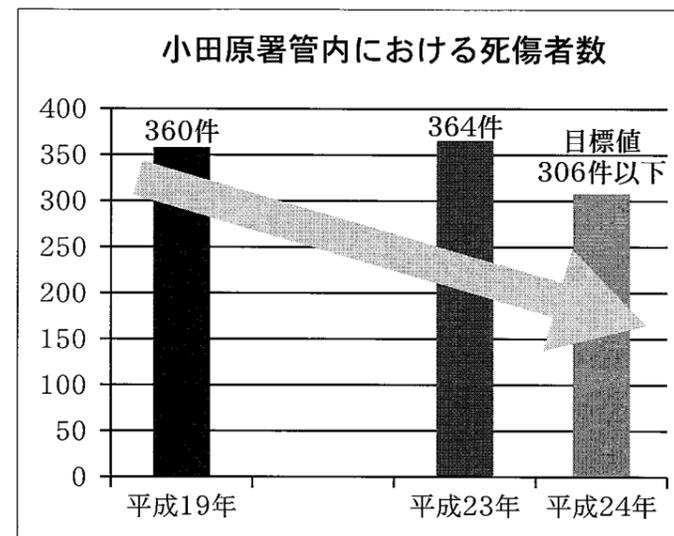
業種区分	平成23年 確定件数	平成22年 確定件数	増減		
			件数	率(%)	
製造業	食料品	13	20(1)	-7	-35
	パルプ・紙・紙加工品	3	7	-4	-57
	化学工業	6	6	±0	±0
	窯業土石製品	3	3	±0	±0
	金属製品	4	7	-3	-42
	一般機械器具	3	3	±0	±0
	電気機械器具	3	0	+3	E
	その他	10	12	-2	-16
小計	45	58(1)	-13	-22	
建設業	土木工事	21(1)	25	-4	-16
	建築工事	29(1)	34	-5	-14
	その他の建設	6	6	±0	±0
小計	56	65	-9	-13	
運輸交通業	40	40	±0	±0	
貨物取扱業	4	4	±0	±0	
非工業的業種	農林・畜産・水産	15(1)	14	+1	+7
	商業	54	52	+2	+3
	通信業	11	9	+2	+22
	教育研究業	5	3	+2	+66
	保健衛生業	39	38	+1	+2
	接客娯楽業	59	72	-13	-18
	清掃・と畜業	21	28	-7	-25
	その他の事業	15	18	-3	-16
小計	219	234	-15	-6	
合計	364(3)	401(1)	-37	-9	

( )内は死亡災害件数で内数

## 再確認！第11次労働災害防止計画における3つの目標

本年（平成24年）は、平成20年から実施してきた第11次労働災害防止計画（5カ年計画）の最終年度にあたります。この間、厚生労働省では、国、事業者、労働者をはじめとする関係者が一体となり、労働安全衛生法の規定に基づいた総合的かつ計画的な労働災害防止対策を取り組んできたところであります。

小田原労働基準監督署管内における平成23年に発生した労働災害件数は、平成24年2月末現在で、360件と平成19年の件数に並ぶ状況です。一部の業種については、目標の減少率を達成しているものの全体としては目標に及びません。特に、平成19年比でみると増加に転じている業種（農林業、商業、通信業、保健衛生業）もあり、第11次労働災害防止計画の最終年度として、より一層の安全活動の取り組みが求められているところです。



### 《目標再確認！》

#### ①死亡者数

平成24年において、平成19年比で20%以上減少

#### ②死傷者数

平成24年において、平成19年比で15%以上減少

#### ③有所見率の減少

定期健康診断における有所見率を増加傾向から減少に転じさせる

## 熱中症を防ごう！

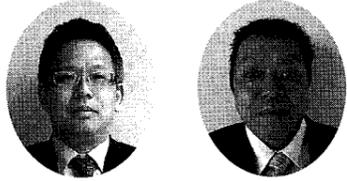
例年、5～6月には夏日を観測する日があり、今年においても昨年同様暑い夏になることが予想されているところです。事業場での熱中症を防ぐためには、関係者が熱中症および熱中症予防対策について十分な認識を持つことが重要です。

「熱中症」とは、高温多湿な環境下において、体内の水分及び塩分（ナトリウム等）のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破たんするなどして発症する障害の総称で、様々な症状が現れます。熱中症で死なせないためには、労働者の健康状態に異常があり熱中症が疑われたら、躊躇せずすぐに救急車を呼んで医師による診察を受けさせることが最も大切です。また、救急車が到着するまでの間、被災者を決して一人で放置せず、現場での応急処置（涼しい個所で安静にさせ、体温を下げる、水分や塩分補給させる等）を適切に講じてください。今年も節電による影響が懸念されることから、十分な対策を検討してください。

◎厚生労働省では熱中症を防ぐために、職場における熱中症予防対策について（平成21年6月19日付け基発第0619001号）を公表しています。

○厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>

### 平成24年度定時総会支部長表彰者



木村辰之



蛇川直成



露木久永



曾根康夫



鎌田光郎



木村則雄



夏井喜久夫

(50音順) (敬称略)

アサヒビール(株)神奈川工場

後藤暢之 (ごとう のぶゆき)

クボタシーアイ(株)小田原工場

木村辰之 (きむら たつゆき)

(株)DNPアイ・エム・エス小田原工場

蛇川直成 (あぶかわ なおしげ)

中谷商工(株)

露木久永 (つゆき ひさなが)

富士ゼロックス(株)中井事業所

曾根康夫 (そね やすお)

富士フィルム(株)神奈川工場

鎌田光郎 (かまた みつろう)

富士フィルムテクノプロダクツ(株)南足柄サイト

木村則雄 (きむら のりお)

(株)明治ゴム化成

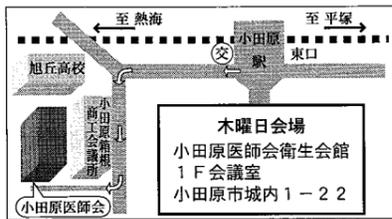
夏井喜久夫 (なつい きくお)



### 小規模事業場の事業者と労働者の皆さんへ 地域の産業医による健康相談・保健指導は 無料健康相談窓口をご利用下さい

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働面接指導、メンタルヘルス対策や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理の支援をするために、「神奈川県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

1. 無料健康相談窓口ご利用時間 (ご利用希望の方は、事前にご連絡下さい)  
午後1時00分～3時00分まで
2. 相談日(平成24年7月までの相談日は次のとおりです。メンタルはメンタルヘルス相談の日です)  
5月10日(木) 5月15日(火) 5月21日(月)メンタル 5月24日(木) 6月11日(月)メンタル  
6月14日(木) 6月20日(水) 7月18日(水) 7月23日(月)メンタル  
(固定の相談窓口をご利用希望の方は、小田原医師会のホームページをご覧ください)
3. 木曜日会場 (小田原医師会衛生会館 1F会議室 小田原市城内1-22)



木曜日以外の日は、小田原市保健センターで「健康相談窓口」を開設しています。  
この他に事業者や労働者が利用し易いように、南足柄市、松田町、箱根町、開成町、山北町、中井町などの産業医のいる診療所でも適宜開設しています。  
連絡先 0465-49-2929  
(月～金曜日の祭日を除く10時から16時までにご連絡ください)

厚生労働省委託事業[神奈川県医師会、協力小田原医師会・足柄上医師会] ご利用希望の方は  
**神奈川県西地域産業保健センター** TEL (0465) 49-2929  
FAX (0465) 49-2930

■小田原市酒匂2-32-16(小田原市保健センター内) コーディネーター 山本 勲

### 会員研修会に参加して

平成24年3月9日(金)

”ミネルバの女神”と”梟(知勇の翼)”に迎えられ富士フィルム(株)先進研究所様訪問

2006年4月、第二の創業を達成すべく、「叡智、勇氣、創造、希望」をテーマとし、先端コア技術研究所 有機合成化学研究所 アドバンストマーケティング研究所 医薬品・ヘルスケア研究所の4つの研究所と複数のプロジェクトから構成される「富士フィルム(株)先進研究所」を見学させて頂きました。



そのゆとりあるスペースと環境に驚かされながら、回廊式研究所のガラス張りの隠すことない透明なポリシーを肌で感させて頂きました。スキンケアシリーズ「アスタリフトシリーズ」の誕生を垣間見た気分でした。

研究所における安全衛生活動は、製造とは異なる面が多く、未知なるリスクと対面する化学者と安全担当者とのしのぎあいを伺いました。新素材に対し、素材安全性確認票(社内MSDS)を活用、開発研究者の次工程へのメッセージにより安全の確保と保障がなされています。事務部門においては、廃棄物の出口管理により、化学物質等のリスク管理をされているご苦労も知りました。研究所では、常に非常作業のKY活動が行われています。研究所という

壁をとりはらい、安全に対する「相互指導は思いやり」という言葉にも感銘を受けました。

”テレビで見るカテーテルを見て触らせて頂きました”(株)カネカメディックス様訪問

1996年9月、山北の地に開設された神奈川事業所にお伺いし、医療現場で使用される「バルーンカテーテル アクティブバルブ」等の製造のご紹介説明をお聞きしました。家族、自身が病院でお世話になったものが、身近で製造されていることに驚きと感謝の念で一杯でした。



安全衛生への取組みも活発で、426件/年(130人)の改善提案が物語っておられます。安全提案箱の活用、会議室・食堂・集会所掲示板を活用した安全活動の見える化が、神奈川県地域共生型工場表彰へつながった活動の原動力と思われました。実際の工場工程見学は出来ませんでした。高度な品質管理を求められる製造現場において、人が一番の汚染原因であることを同業として肝に命じました。

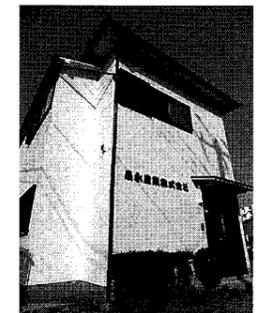
ご多忙の中、多数の見学者を受け入れてくださった二社へ熱く御礼申し上げます。

(わかもと製薬(株) 太田吉昭)

### 支部会員事業場紹介

☆社名 相模洋洗株式会社  
 ☆所在地 小田原市千代899  
 ☆代表者名 代表取締役 岩崎明博  
 ☆創立 昭和47年6月  
 ☆従業員数 40名  
 ☆事業内容 一般廃棄物・産業廃棄物・特別管理産業廃棄物収集運搬業、建物清掃管理、建物の解体工事、特定労働者派遣業

☆社名 昌永産業株式会社  
 ☆所在地 小田原市堀之内180  
 ☆代表者名 代表取締役社長 山本 純  
 ☆創立 昭和39年1月  
 ☆従業員数 140名  
 ☆事業内容 清掃管理業務、産業防虫業務、造園業、特定労働者派遣業、産業廃棄物運搬業



## [事務局だより]

事務局長 剣持 收

平成24年度がスタートしました。昨年は3月に起きた東日本大震災の影響が懸念され、一部講習会の中止はありましたが、会員皆様のご理解とご協力により、ほぼ計画通り遂行することが出来ました。

技能講習や研修会にも多くの方々の参加を得て、支部活動の根幹を支えて頂き有難うございました。

今年度は各事業場の組織体制の向上と災害防止の推進が図れるように努力して行きます。

併せて、事務局を活用して頂くために

①会員の相談や要望等への対応の推進

②労働災害防止に向けての指導の推進

をめざしますのでどうぞご利用ください。

これらの活動目標を心掛け、平成24年度の事業計画を推進させて行く所存です。

役員、会員のみなさまのご支援ご協力並びに小田原労働基準監督署の指導及び関係諸機関のご支援をよろしくお願い申し上げます。

### [5月～9月行事案内]

\* フォークリフト運転特別教育

・ 5月16日(水) 小田原箱根商工会議所

\* クレーン運転特別教育

・ 5月22日(火) 小田原市民会館

\* 衛生管理者準備講習会

・ 5月24日(木)、25日(金)

小田原市民会館

\* 全国安全週間小田原地区推進大会

・ 6月5日(火) 小田原市民会館

\* 職長安全衛生教育

・ 6月6日(水)、7日(木)

小田原箱根商工会議所

\* 安全衛生推進者養成講習

・ 6月13日(水)、14日(木)

小田原市民会館

\* 玉掛け業務特別教育

・ 6月21日(木) 小田原箱根商工会議所

\* 安全管理者選任時研修

・ 6月25日(月)、26日(火)

小田原箱根商工会議所

\* 労務管理講習

・ 6月28日(木)

小田原市民会館

\* 救急法短期講習

・ 7月4日(水) 小田原箱根商工会議所

\* リスクアセスメント研修

・ 7月18日(水)

小田原市民会館

\* 健康保持増進講習

・ 7月25日(水) 小田原箱根商工会議所

\* 全国労働衛生週間小田原地区推進大会

・ 9月4日(火)

小田原市民会館

\* VDT労働衛生教育

・ 9月13日(木) 小田原箱根商工会議所

\* KYTリーダー研修

・ 9月19日(水) 小田原箱根商工会議所

\* 安全衛生担当者の実務研修会

・ 9月24日(月)、25日(火)

小田原箱根商工会議所

\* 届出手続き講習

・ 9月27日(木)

小田原箱根商工会議所

## 散 歩 道

春は多くの方が新生活を始める季節。私自身は、子供たちの成長を近くで見守りたく、この春、単身赴任を解消しました。夜明けとともに起床する生活によりやく慣れました。

わんぱく坊主の長男3歳は、最近までトイレトレーニングに苦戦し心配しました。その後、妻の愛情ある教育を受けて、お風呂で自分の体と頭を洗えるようになり、元気に幼稚園に通い始めて一安心です。

お話もまだまだの次男1歳は、兄を見て、早くもトイレトレーニングに興味津々です。

会社では、フレッシュな新人が入社。研修では教えることがとても多く、1つでも多く覚えて欲しいと、つつい教えることに夢中になってしまいます。

子供にも新人にも、早く一人前に育てて欲しいと願っている気持ちは一緒です。そのような親心を忘れずに、愛情を持って彼らに接することができるよう、私自身も磨きをかけていきます。(広報部会 松尾興嗣)